

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

# 大阪春闘共闘ニュース

No.8 2010年 1月27日

〒530-0034  
大阪市北区錦町2-2  
大阪労連気付  
TEL (06) 6353-6421

## 生休・妊娠障害・夏期休暇の改悪を阻止、時短で前進

### 保育休暇廃止の撤回へたたかいを強化(府労組連ニュースから)

大阪府の不当な特休・特勤改悪提案に対し、職場からの怒りと、全国からの支援を背景に、粘り強くたたかった結果、生理・妊娠障害について特休を存続させるとともに、夏期休暇の現行5日の維持、実質拘束時間の15分短縮の時短(実施時期は未定)を2月条例に提案。また、最も要求の強い保育特休については、廃止撤回はなりませんでした。勤務時間の短縮実施まで、継続させるなど、一定修正をさせることができました。

改悪の根本的な性格が変わったものではなく、府労組連は、引き続きたたかいを強化し、10春闘勝利！働くルール確立、大阪維新プログラム(案)撤回、橋下府政の転換めざし府民共同を一層広げ全力奮闘する決意を表明しています。

#### 広がった支援と連帯

府労組連も職員署名34000、職場決議1150を集めました。大阪労連も全国的に支援を訴え、集会・宣伝に参加をしてきました。

- ◆1200を超える知事あて抗議要請
- ◆1000を超える「怒りの声」
- ◆府庁前800人の集会。地域労組から連帯挨拶
- ◆24日「パパ・ママ集会」で大阪労連の女性、大保連、新婦人が怒りと連帯の発言
- ◆26日府当局交渉の山場で、府庁最寄り駅で府民宣伝。大阪労連もスピーチ。

## 注目の名護市長選挙、稲嶺進さんが勝利

### 「普天間基地撤去」「新基地建設反対」の世論をさらに広げよう

1月17日(日)告示、24日(日)投票で闘われていた、全国注目の名護市長選挙で、全労連・大阪労連も支援していた稲嶺進さんが見事に勝利しました。この名護市長選挙では、すでに旧自公政権で日米合意されていた沖縄・宜野湾市の普天間米軍基地の名護市・辺野古沖合への移転問題が最大の焦点でした。鳩山政権誕生で見直しが浮上し、その後の対応で混迷を深めていましたが、稲嶺進さんは、名護市民や沖縄県民の「普天間基地撤去」「新基地建設反対」の民意を掲げて奮闘しました。全労連の支援要請を受けて、大阪労連からも西岡健二幹事が、1月9日～11日まで現地支援に入り、激励寄せ書き、支援カンパなどにもとりくみました。

(選挙の結果)

- 稲嶺 進氏 1万7950票
- 島袋吉和氏 1万6362票